

『第 3 期館山市基本計画』に係る政策評価について (評価概要)

1. 政策評価の目的

『第 4 次館山市総合計画』の策定にあたり、現行計画の課題や優先度を明確化することで、限られた行政資源（ヒト・モノ・カネ）を適切に配分し、より実効性の高い次期総合計画を策定することを目的とする。

2. 政策評価の視点

【評価全体の視点】⇒ 市民への説明責任

- ・評価結果は公表する。

【政策・施策に対する視点】⇒ 事務事業の見直し

- ・目的や目標に対する各事業の必要性・有効性・効率性などを勘案し、次期総合計画策定への展開を十分に検討する。

【事務事業単位での視点】⇒ 職員の意識改革

- ・評価に際しては、事業の P D C A サイクル（計画→実行→評価→改善）を意識するとともに、担当課職員全体で情報共有し、職員の意識改革と事業実施の改善を図っていく。

3. 政策評価の方法とスケジュール

(1) 評価対象事業

- ・『第 3 期館山市基本計画』に記載されている全計画事業を評価の対象とする。
- ・重複事業についても、市政課題・計画分類により、目的・目標が異なるため、それぞれを評価対象とする。

(2) 評価の流れ

① 1 次評価（課長評価） ※実施時期：平成 2 6 年 1 2 月

② 2 次評価（部長評価） ※実施時期：平成 2 7 年 3 月

⇒ 1 次評価の結果に対し、部全体としての再評価・調整を実施。

③ 3 次評価（政策評価委員会評価） ※実施時期：平成 2 7 年 3 月 2 6 日（木）

⇒ 1・2 次評価の結果を受け、政策評価委員会（市長を委員長とした庁内機関）により、総合的な評価を実施。

④ 4次評価（政策評価委員会評価） ※実施時期：平成27年8月4日（火）

⇒平成26年度終了時点での最終評価を行う。1次～3次評価結果について、見直しを行い、市としての優先度を決定する。

4. 政策評価の内容

- ◆ 進捗状況の再確認
- ◆ 実施内容及び実績・成果
- ◆ 達成度の評価
- ◆ 次期総合計画への展開
 - ・ 事業の方向性
 - ・ 現状の課題分析
 - ・ 目標の設定
 - ・ 次期計画における取組予定
 - ・ 優先度の選択

5. 1～3次評価の概要

◎ 目的や目標に対する各事業の必要性・有効性・効率性などを勘案し、『第4次館山市総合計画』（前期基本計画）にどのように展開していくべきかを検討する。

〔達成度〕

- 1 目標を上回る
- 2 おおむね目標どおり
- 3 目標をやや下回る
- 4 目標をかなり下回る

〔方向性〕

- ア 継続（拡充）
- イ 継続（現状維持）
- ウ 継続（縮小）
- エ 完了
- オ 休止
- カ 廃止
- キ 他事業に統合

〔優先度〕

- S 最優先
- A 高い
- B それほど高くない
- C 低い

5. 4次評価の概要

- ◎ 平成26年度末時点での最終評価を行い、市としての優先度を決定する。
- ◎ 4次評価まで行った評価結果は、『第4次館山市総合計画』（前期基本計画）の事業に反映する。

- 1 最重点
- 2 拡充
- 3 現状維持
- 4 縮小
- 5 統合
- 6 廃止・休止
- 7 完了

6. 政策評価の総括（達成度の時点修正）

⇒ 政策評価委員会評価 ※実施時期：平成28年7月8日（金）

- ◎ 計画期間満了となる平成27年度末における時点修正（実施内容、実績・成果）を行い、当該内容を踏まえて最終達成度を決定し、政策評価の総括をする。

〔達成度〕

- 1 目標を上回る
- 2 おおむね目標どおり
- 3 目標をやや下回る
- 4 目標をかなり下回る

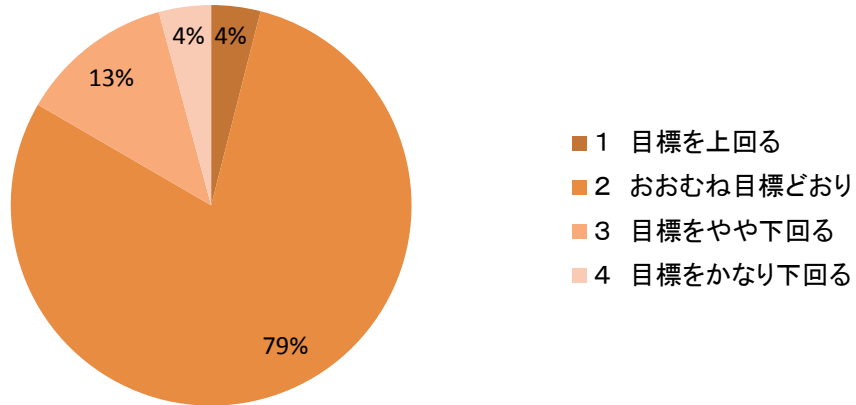
3次評価達成度			館山新世紀発展プラン	ふるさと館山の保全と育成	分権型社会のシステムづくり
1 目標を上回る	16	4%	2	13	1
2 おおむね目標どおり	320	79%	98	187	35
3 目標をやや下回る	50	13%	27	20	3
4 目標をかなり下回る	17	4%	14	2	1
合計	403		141	222	40

3次評価優先度			館山新世紀発展プラン	ふるさと館山の保全と育成	分権型社会のシステムづくり
S 最優先	30	8%	14	14	2
A 高い	237	65%	90	130	17
B それほど高くない	95	26%	19	62	14
C 低い	4	1%	1	3	0
合計	366		124	209	33

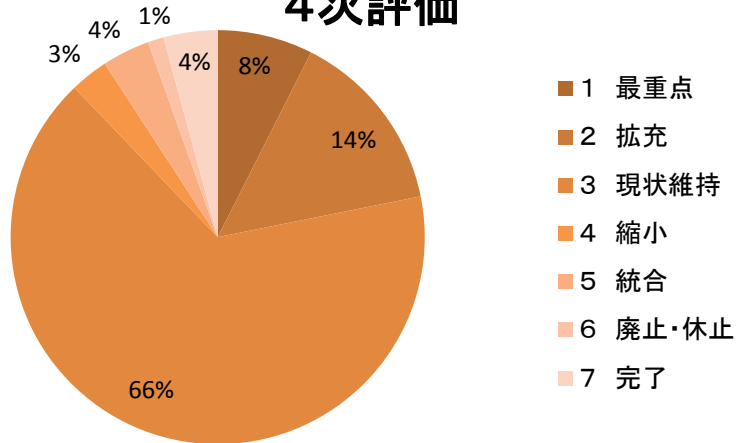
4次評価			館山新世紀発展プラン	ふるさと館山の保全と育成	分権型社会のシステムづくり
1 最重点	30	8%	14	14	2
2 拡充	58	14%	19	32	7
3 現状維持	266	66%	84	160	22
4 縮小	12	3%	7	3	2
5 統合	15	4%	3	6	6
6 廃止・休止	5	1%	3	2	0
7 完了	17	4%	11	5	1
合計	403		141	222	40

最終達成度			館山新世紀発展プラン	ふるさと館山の保全と育成	分権型社会のシステムづくり
1 目標を上回る	16	4%	2	13	1
2 おおむね目標どおり	323	80%	97	191	35
3 目標をやや下回る	46	11%	28	16	2
4 目標をかなり下回る	18	5%	14	2	2
合計	403		141	222	40

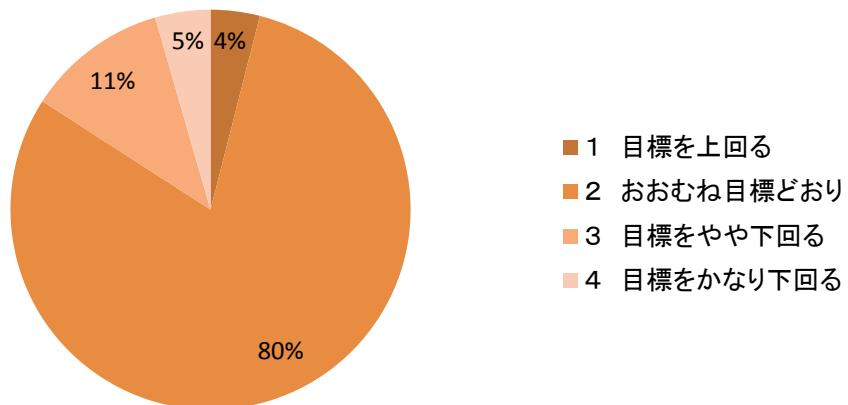
3次評価達成度



4次評価



最終達成度



最終達成度の結果

	1 目標を上回る	2 おおむね目標どおり	3 目標をやや下回る	4 目標をかなり下回る	合計
【館山新世紀発展プラン】	2	97	28	14	141
	1.4%	68.8%	19.9%	9.9%	100.0%
首都圏を最南で支える交通拠点の確立	0	6	3	4	13
情報都市館山への挑戦	0	17	2	0	19
交流・交易のまちづくりと館山湾の活用	0	12	10	0	22
賑わいと憩いと癒しの観光地づくり	0	14	1	0	15
商業都市館山の再構築	1	8	3	2	14
地域を育む産業の活性化	0	32	9	8	49
子どもを育てたくなるまち』、『帰りたくなるまち、住みたくなるまちづくり	1	8	0	0	9
【ふるさと館山の保全と育成】	13	191	16	2	222
	5.9%	86.0%	7.2%	0.9%	100.0%
ふるさとの環境づくり	0	30	3	0	33
文武両道の人づくり	3	60	5	1	69
『輝き・高齢社会』の実現	1	19	1	0	21
元気で明るい『ふれあい社会』の継承	4	53	1	0	58
安全・安心・快適なまちづくり	5	29	6	1	41
【分権型社会のシステムづくり】	1	35	2	2	40
	2.5%	87.5%	5.0%	5.0%	100.0%
行政システムの改革	1	21	2	0	24
市民のまちづくりへの参画	0	3	0	1	4
行政サービスの高度化	0	7	0	0	7
市町村合併に向けた基礎づくり	0	4	0	1	5
合 計	16	323	46	18	403

【4 目標をかなり下回る】事業について ※主な事業

計画事業名	実施内容及び実績・効果	前期基本計画事業名
地域高規格道路館山・鴨川道路の事業促進	・出前民主党を通じた要望を実施したが、具体的な進捗は見られなかった。	地域高規格道路の整備促進
東京湾口道路の事業促進	・房総地域東京湾口道路建設促進協議会などを通じた国・県への要望活動を実施したが、具体的な進捗は見られなかった。	地域高規格道路の整備促進
鉄道の維持と利便性の向上	・関係機関や沿線自治体と協力し、継続的な要望活動を行ったが、高速バス利用者の増加等により鉄道利用者の減少が著しい。 ・平成27年3月14日のダイヤ改正において、内房線特急「さざなみ」については、運転本数の減、さらには運転区間の見直しにより、平日における館山～君津間での運転が取り止めになることとなり、館山～東京間に総武快速線直通の『特別快速』が新設されるものの、沿線住民や観光客・ビジネス客にとって、内房線の利便性が大きく低下することになった。	鉄道の維持と利便性の向上
酪農振興事業利子補給事業	・平成23年度から平成27年度までの5年間に、利子補給の申請がなかった。	畜産振興支援事業